

PRESS RELEASE

2008年4月9日
昭和電線デバイステクノロジー株式会社

**QUIESCENT ブランド 高性能防音ボックス「QUIESCENTbox」の販売開始
～ 500Hz 以下の周波数にも効果的な防音ボックスを開発 ～**

昭和電線デバイステクノロジー株式会社（東京都港区虎ノ門 1-1-18 取締役社長 岡本武雄）は、制音 QUIESCENT ブランドに新たな高性能防音ボックス「QUIESCENTbox（クワイセントボックス）」を投入し、2008年5月より販売を開始します。

2006年11月に立ち上げた「QUIESCENT（クワイセント）」は、「音を制御し、地球に優しい、人に優しい、機械に優しい快適な環境を創造する」昭和電線の制音テクノロジーブランドです。

「QUIESCENT」の特長は、防振・制振・遮音・吸音技術の最適活用によるお客さまの課題解決、付加価値向上です。そして、これを実現する製品として当社の制音デバイスを有効活用した制音コンポーネント「QUIESCENTbox」を開発いたしました。

従来の防音ボックスでは500Hz以下の周波数に対して有効な対策ができませんでしたが、当社の低周波吸音材および制振遮音材を組み合わせることにより500Hz以下の周波数に対しても有効な高性能防音ボックスが完成いたしました。開発した防音ボックスは、真空ポンプや圧縮機など研究開発や生産の現場を支えている多くのインフラ設備に簡易に適用でき、さらに防音ボックス内の熱対策もサイレンサー付の換気扇により無音排熱が可能となります。

適用分野は、ナノテク機器分野・産業機器分野の

- 1) 研究開発や生産の現場で使用されている真空ポンプ、圧縮機、ブロワーなど
- 2) 理化学機器分野で使われている電子顕微鏡用真空ポンプなど
- 3) 各種ポンプなど
- 4) 発電機など

で快適な職場環境や住環境が実現でき、さらにナノテク分野で使用されているハイテク機器を騒音から守ることも可能です。今後、各種展示会などでデモンストレーションを展開し、初年度100台程度の販売を予定しています。

< 4～6月の展示会出展予定 >

- 1) テクノフロンティア2008 4月16日～18日（幕張メッセ）
- 2) 日本顕微鏡学会 学術講演会 5月21日～23日（京都国際会館）
- 3) サウンドフェスタ2008 6月4日～5日（大阪国際会議場）

また、効果を体験してみたいお客さまにはデモ品を2台準備しておりますので、当社ホームページ「制音テクノロジー」よりお申込み下さい。

なお、第二弾の制音コンポーネントは、6月に「QUIESCENTpanel（クワイセントパネル）」のリリースを予定しています。

本件に関するお問い合わせ先：

- 【広報関係】昭和電線ホールディングス株式会社
総務統括部 広報課 [担当 菅井] TEL:03-5532-1911
- 【製品関係】昭和電線デバイステクノロジー株式会社
クワイセント市場開発室 「担当 北村」 TEL:03-3597-7058
- 【デモ申込み】当社ホームページ「制音テクノロジー」からお申込み下さい。

以上